

1 策定の趣旨

○東日本大震災及び原発事故の発生は、県産農林水産物や観光などあらゆる方面に深刻な影響を及ぼした。
 ○食の安全・安心確保の取組や本県の魅力の発信などの様々な取組を着実に実施し、回復傾向にあるものの、原発事故から4年以上経過した今も、未だあらゆる方面に根強く風評が残り、依然として厳しい状況にある。
 ○また、時間の経過とともに本県に関する情報が減少し、本県への関心度や応援意向が低くなる風化が進んでいる。
 ○本県の復興を着実に進め、更に加速させるためには、県民の皆さんや本県を応援してくださる方々と力を合わせて、県全域かつあらゆる方面に影響を及ぼしている風評の払拭と進行する風化の防止に取り組むことが急務であることから「福島県風評・風化対策強化戦略(第1版)」を策定した。

2 戦略の位置付け

戦略の性格
 欧州訪問などこれまでの取組の成果、専門家や現場の声を踏まえ、目指す姿、各分野での現状と課題、対策強化の方向性、各部局の連携強化の具体策などを盛り込み、風評払拭と風化防止へ向けた施策の総合的な行動計画として位置付け、今後、本県を取り巻く状況の変化等に応じて、内容を随時見直し、書き添えていく。

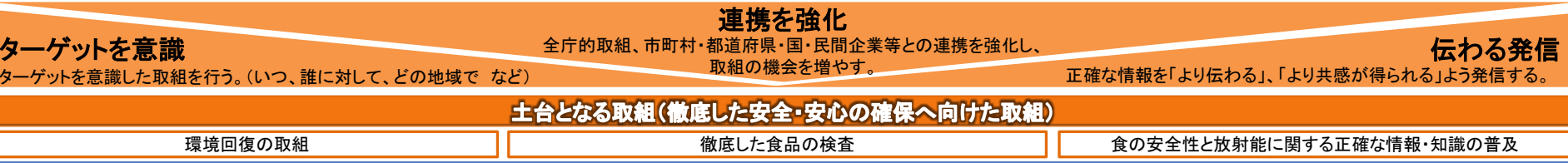
戦略の取組期間
 平成29年度末(2017年度末)

3 目指す姿



4 現状・現場の声(80人の意見等)・課題

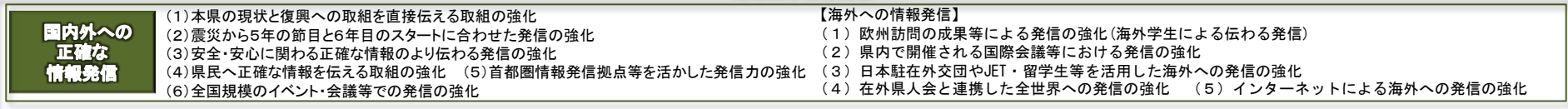
5 対策強化の方向性



6 特に強化すべき取組

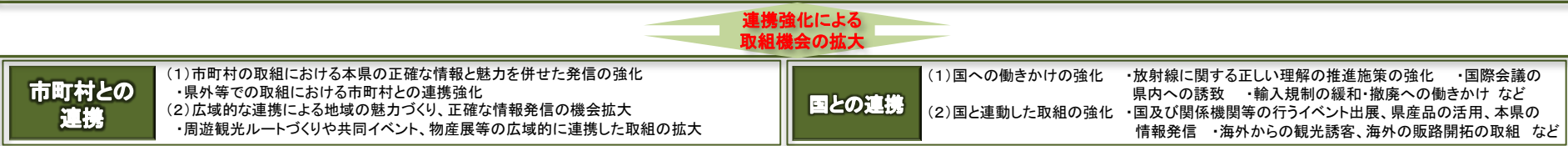


「復興の現状・取組」「食や観光の魅力」「感謝」「県民の思い・努力」「魅力(自薦)+応援(他薦)+評価(事実)」
一体的な取組と効果的な情報発信



「共感と応援の輪」の拡大に向けた仕組みづくり

- (1)本県を応援する企業・団体等の応援行動の促進(未来をつくるプロジェクト、ふくしまチャレンジをはじめ、全国の福島県人会 など)
- (2)県内関係団体等との連携強化 (3)本県を応援する個人等の応援行動の促進 (4)県外自治体との連携強化(九都県市首脳会議、全国知事会、自治法派遣職員 など)



7 目指す姿の実現に向けて

職員一人ひとりが意識を持って、様々な機会、手段を活用した取組をはじめ、引き続き、「風評・風化対策プロジェクトチーム」において、風評・風化対策強化の方向性や取組の見直しを図り、部局連携等による一体的な取組と、統一感のある効果的な情報発信を行う。